

# 小矢部市立藪波公民館

## ◆事業の目的

「自然は最高の教室」「体験は最高の学習」を合言葉に事業を進める当公民館にとって、本事業では身近な山や川の実態に触れ、自然の在り様について考える。

## ◆事業の流れ

| 実施日      | 活動名      | 場所         | 参加人数 |
|----------|----------|------------|------|
| 5月14日(月) | 藪波川春の調査会 | 浅地・安養寺・戸久  | 18名  |
| 6月10日(日) | ホタルの観察会  | 藪波川        | 148名 |
| 8月7日(火)  | 御手洗川の調査会 | 小矢部市・御手洗川  | 16名  |
| 8月21日(火) | 藪波川夏の調査会 | 浅地・安養寺・戸久  | 18名  |
| 9月22日(土) | 親子上流体験   | 南砺市城端ダム湖上流 | 35名  |
| 10月8日(月) | 藪波川秋の調査会 | 浅地・安養寺・戸久  | 24名  |

## ◆事業の様子

☆ **藪波川調査会** 藪波川では、昭和19年頃から川筋の直線化工事が始められ、今年末完成した。河川に人力が加わるとどのような変化が見られるかは、この川の変化を見ることで解答が得られるように思われる。そんな歴史をもつ小河川である藪波川の調査は環境調査、魚類節足動物・軟体動物の生息調査等を中心に行った。



藪波川

☆ **ホタル観察会** 地区内を流れる藪波川には十数年前からホタルが戻っている。ホタルの発生数は藪波川の餌となるカワニナ数や川の環境要素と大きく関わっていることを学習した。



飛び交うホタル

☆ **御手洗川調査** 本調査は南部公民館との共同調査として計画したが、南部公民館からの参加はなかった。子どもたちは過去に砂馳川や五郎丸川での経験を持つので、抵抗なく調査会が実施できた。調査は妃の清水(St-1)興法寺(St-2)小矢部川合流点(St-3)の三地点で行った。



御手洗川

☆ **親子上流探検** 上流探検は地区の小・中学生・保育所園児が参加して行われた。小・中学生が保育所園児の指導に当たる場面が多く見られ、異世代交流の効果があつた。今年は雨が少なく水生昆虫が多く採集できた。

## ◆事業の成果と課題

### 成果

上流探検も7回になり、参加する成人の指導力が向上し、多くの場面で積極的な指導がなされるようになった。また、子どもたちが地元の多くの大人と接することで、地域のつながりがより強くなっていると思う。

### 課題

上流体験を継続する場合は、今後活動フィールドの開拓が望まれる。たとえば、小矢部川水系では刃利ダム上流・庄川水系では梨谷川上流等にフィールドが求められたらと考える。



上流探検